

首里城公園

令和6年度モニタリング結果の概要

1. 首里城公園の管理区分について
2. 入域観光客と入園者・入場者の推移
3. サービスの安定性の評価(財務状況)
4. 履行確認・評価
5. サービスの質の評価(利用者アンケート結果)
6. 総合評価

令和7年8月18日 沖縄県都市公園課

1. 首里城公園内の管理区分について

令和7年度 首里城公園管理区分図

凡例	管理区分
赤色	沖縄県土木建築部 都市公園課 沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）
青色	沖縄総合事務局（正殿工事区域含む）
茶色	沖縄県教育庁文化財課
茶色	沖縄県教育庁文化財課（未開園部分）
緑色	沖縄県土木建築部 都市公園課
黄色	沖縄土木建築部 都市公園課（中城御殿跡地）
紫色	那覇市教育委員会

首里城公園の面積

面積	計画面積	開園面積
県営区域	13.1ha	7.2ha
国営区域	3.9ha	3.9ha
合計	17.0ha	11.1ha

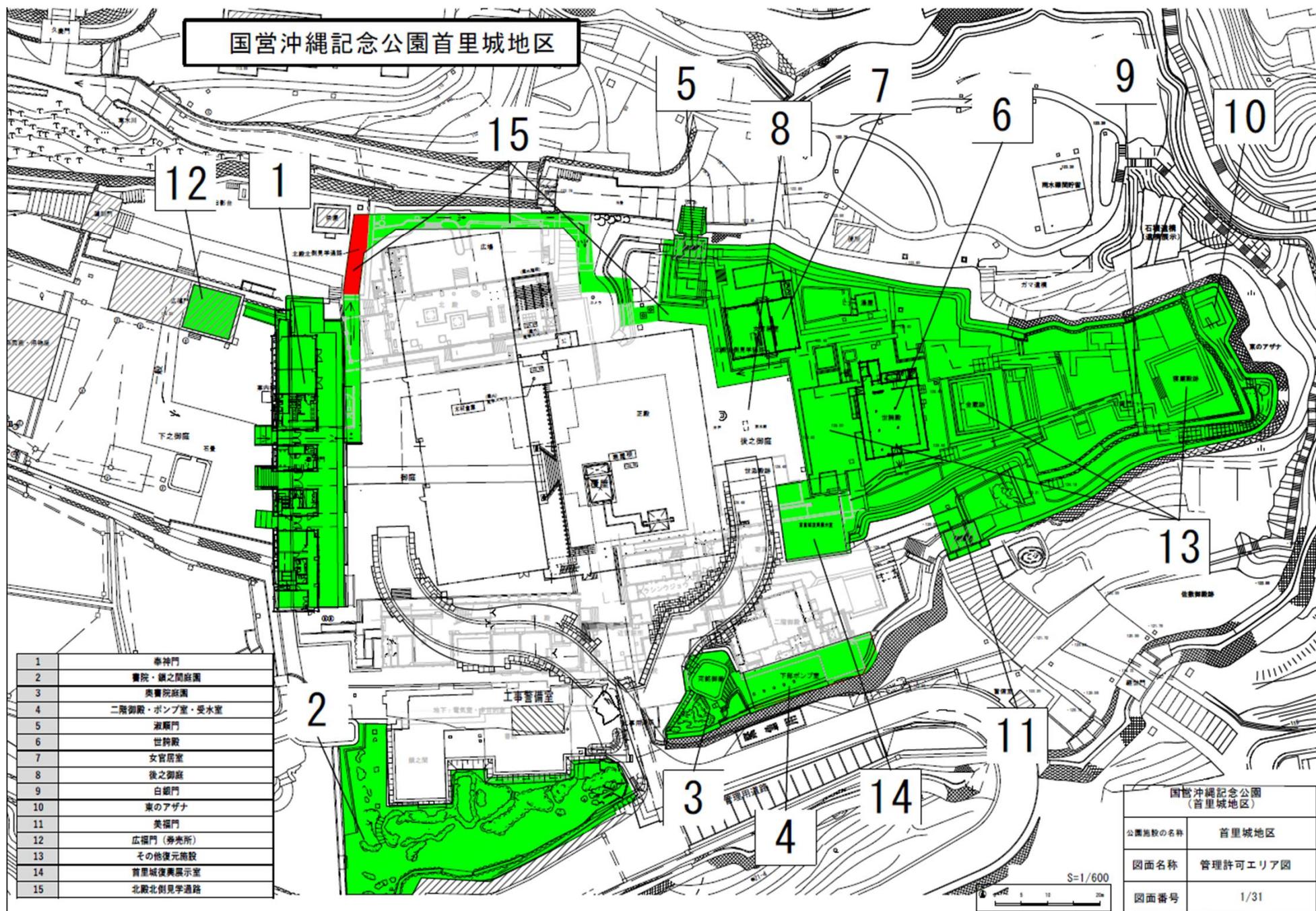
※有料区域面積 1.4ha



緑色：
県営首里城公園

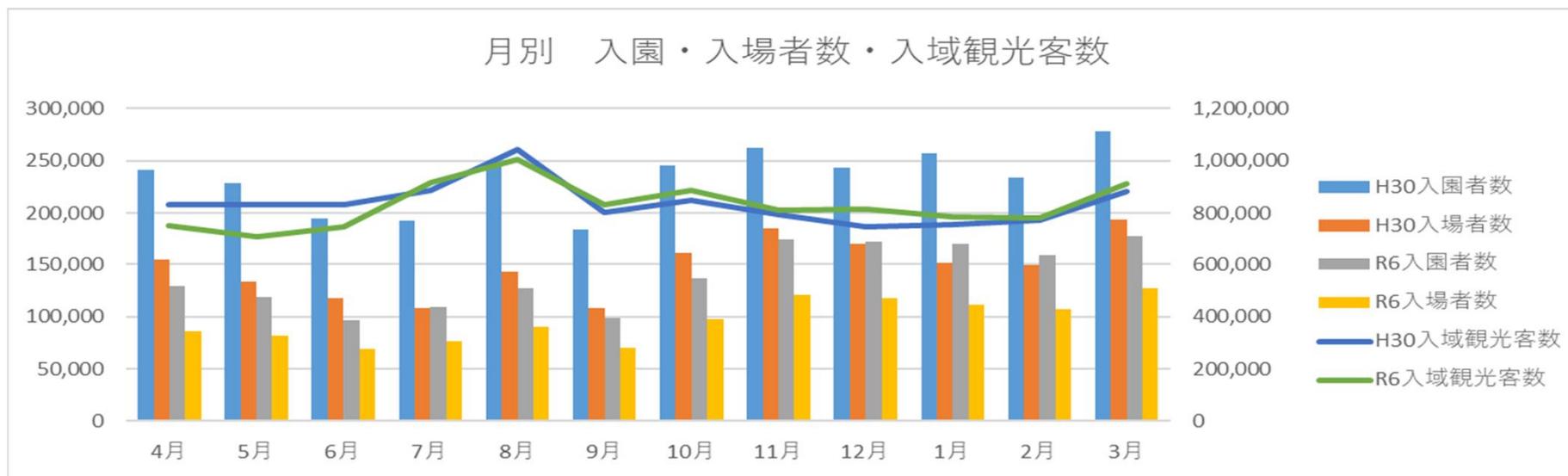
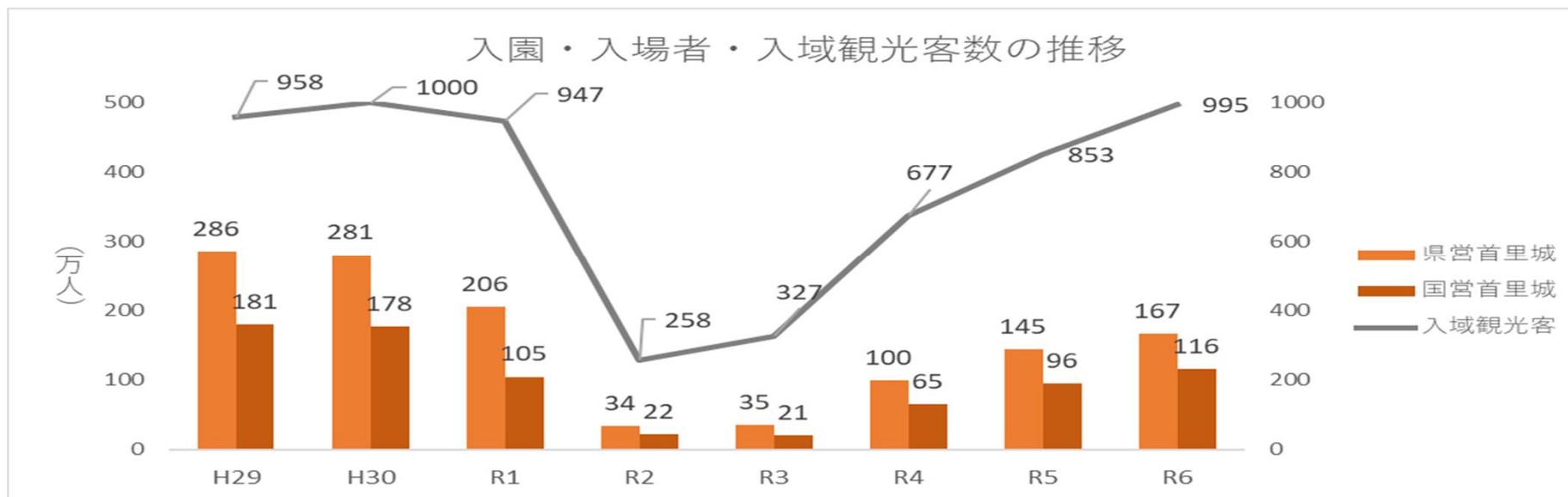
赤色：沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）
→「有料区域」と呼ぶ

有料区域内の沖縄県の管理エリア



2. 入域観光客と入園者・入場者の推移

- 令和6年度は、連休期間中の旅行需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便・季節運航等の実績が好調に推移したことから、入域観光客数は前年度比で増加したことで入園者は前年度比+15.6%、入場者が前年度比+20.4%（入域観光客+16.6%）となった。
- 入域観光客に占める入園者の割合は16.8%となっており、火災前の水準28.0%に達していない。



3. サービスの安定性の評価(財務状況)－首里城有料区域

- 入場料収入は、入域観光客の増やSNS等での情報発信、有料区域への誘導を実施したことて入場者数は増加により、前年度比+21.8%となった。
- 売店等の収入は、入場者数の増や売り場面積拡充に伴う利用者増や、売高単価商品の売れ行きが好調であったことで客単価が増加し、前年度比+28.0%となった。
- 支出においては、入場者数の増に伴い各種経費が増加しており前年度比+11.5%となっている。特に人件費、商品仕入れ、支払い手数料、租税公課が増加している。

首里城有料区域

(単位：千円)

		H30 2ヶ月	R1	R2	R3	R4	R5	R6	対前年度比
収入	入場料	236,694	669,068	72,375	68,758	213,900	313,994	382,324	121.8%
	売店等	60,856	264,249	21,692	38,115	155,915	229,720	294,121	128.0%
	県補助金			31,850	34,722	0	0	0	0.0%
	指定管理料					242,903	265,793	210,457	79.2%
	その他	90	19,796	56,640	43,872	7,369	5,087	15,641	307.5%
	計	297,640	953,113	182,557	185,467	620,087	814,594	902,543	110.8%
支出	管理運営経費	218,905	1,077,142	467,688	388,777	599,025	807,193	893,991	110.8%
	固定納付金	37,694	136,050	31,850	34,722	0	0	0	0.0%
	公園関連事業等	1,264	39,835	13,511	10,142	21,811	8,123	15,223	187.4%
	計	257,863	1,253,027	513,049	433,641	620,836	815,316	909,214	111.5%
収支差		39,777	-299,914	-330,492	-248,174	-749	-722	-6,671	

3. サービスの安定性の評価(財務状況)ー県営首里城公園

- 県営首里城公園は、利用料金収入で管理運営経費が賅えない施設として、従来より指定管理者に対し指定管理料年約1.6億円を支払っている。令和6年度においては、首里杜館の設備修繕に係る費用として73,998千円増額したため、前年度比+11.7%となっている。
- 駐車場収入は、入域観光客の増による入園者数の増、条例改正に伴う料金単価改定により前年度比+44.1%となった。
- 支出においては、首里杜館の設備修繕、料金単価改定に伴う増収分を活用した新たな公園利用サービスの実施により、管理運営経費は前年度比+23.5%となっている。

県営首里城公園

(単位：千円)

		R1	R2	R3	R4	R5	R6	対前年度比
収入	駐車場収入	89,951	23,382	18,976	55,951	81,401	117,277	144.1%
	他利用料金収入	969	1,256	548	742	873	719	82.4%
	指定管理料	165,253	189,378	161,462	161,462	203,843	227,738	111.7%
	その他	17,077	15,191	22,265	7,365	5,249	15,427	293.9%
	計	273,250	229,207	203,251	225,520	291,366	361,161	124.0%
支出	管理運営経費	282,491	229,185	196,212	227,538	303,221	374,359	123.5%
収支差		-9,241	22	7,039	-2,018	-11,855	-13,198	

4. 履行確認・評価

<首里城有料区域>

維持管理業務

- ・施設維持管理
- ・安全衛生管理
- ・その他維持管理に関する業務

運営業務

- ・入場料收受
- ・首里城復興普及啓発
- ・復元整備に関する展示解説等
- ・行催事
- ・売店営業等
- ・広告宣伝・誘客営業活動及び利用促進計画
- ・利用者案内・警護
- ・その他運営に関する業務

自主事業(関連事業)

- ・企画調査研究
- ・地域還元事業
- ・公園関連事業

<県営首里城公園>

維持管理業務

- ・施設維持管理
 - ・清掃
 - ・植栽管理
 - ・施設管理
 - ・修繕
- ・警備及び利用者誘導

運営業務

- ・行為の許可手続き
- ・利用料金の徴収に関する業務
(駐車料金、行為の許可)

自主事業

- ・首里杜館の売店及びレストラン
- ・本設店舗の売店
- ・城郭内と連携した各種イベントの開催

安全衛生管理－防火管理について

現状分析・課題

- 以下の取組内容が良好に実施されていることを確認。
 - ・ 毎月県・国と連携し、奉神門管理事務室、首里杜館（防災センター）、公園管理センター、工事警備室の4か所の管理室と国の工事エリアを含む公園全体で様々なリスクによる訓練を実施。
 - ・ 国・県・指定管理者と合同で振り返りを実施し、課題を抽出して改善に努めた。
 - ・ 訓練終了後に現場における訓練参加者の振り返りを実施し、課題点や疑問点を立会い監督者と確認することで防災意識やスキル向上を図った。
 - ・ 防火（防災）管理業務が消防計画等に基づき適切に実施されているか、また、業務の適合性・有効性・妥当性を確認するため、「防火対象物点検報告制度」に準じた防災マネジメントシステム運用（査察）を開始した。

取組改善案

- 安全対策の取り組みとして、訓練で生じた課題を次回訓練で解決できるよう計画し、防災マネジメントシステムの運用により防災専門部署による点検を通じて改善を図るなど、適切に取り組まれている。引き続き復元工事の進捗にあわせ変化する状況に応じた訓練等を実施し、継続的な改善を図る必要がある。

5. サービスの質の評価(利用者アンケート結果)

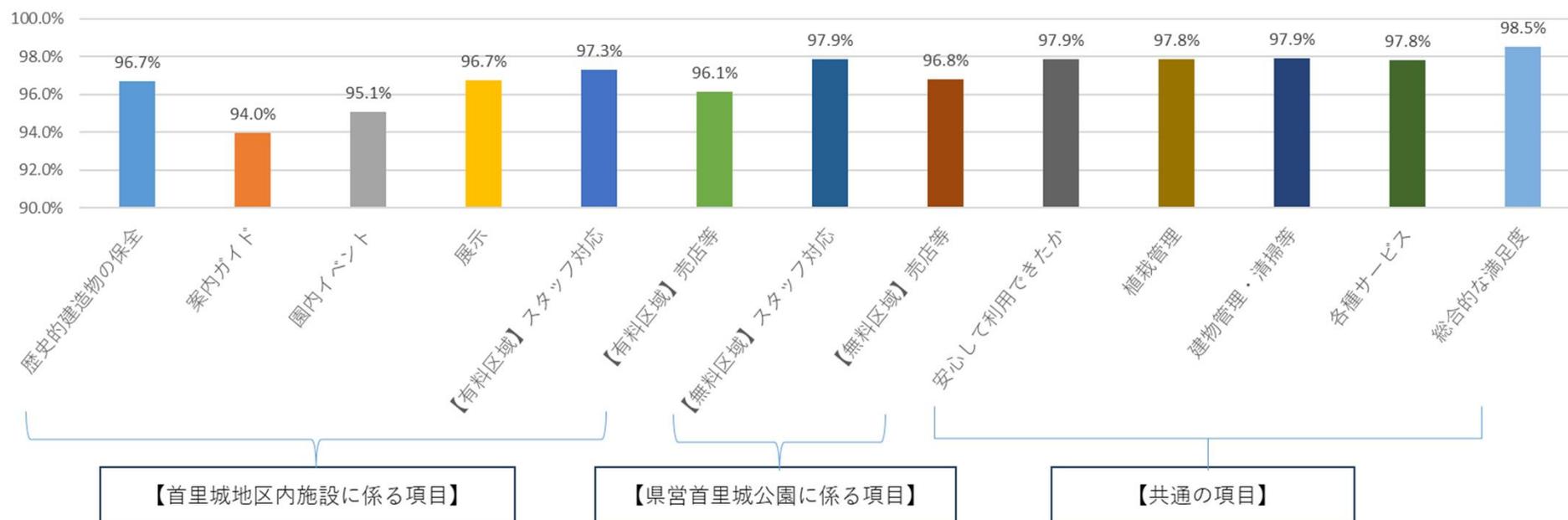
アンケートの手法と結果

- 記入用紙とアンケート回収箱を園内5か所に設置するほか、園内掲示や日本語版リーフレットにQRコードを表示し、QRコードでは多言語アンケートを導入している。回答件数は、R6年度合計で7,998件、前年度比+166%となり、大幅に回収数が増加している。
- 首里城有料区域、県営首里城公園ともに全てのカテゴリで高い満足度を維持できている。

取組改善案

- 引き続き、お客様のご意見を収集・分析し、今後の管理運営の課題解決につなげる必要がある。
- アンケート回収数については、QRコードの導入や多言語アンケートの作成、声掛けを実施するなど、大幅に回収数増となっている点は評価できる。今後、多言語パンフレットにアンケートフォームへ誘導するQRコードを掲載するなど、引き続きアンケート回収数増に取り組む必要がある。

「満足」「どちらかという満足」と回答した方の割合



6. 総合評価-首里城有料区域

評価項目	評価指標	令和5年度実績	事業計画(目標値)	令和6年度実績	現状分析・課題		評価(点数)	取組改善案	総合評価		
					前年比	計画比					
成果指標	①利用状況	利用者数	959,558	1,043,000	1,155,168	120.4%	110.8%	<p>・アフターコロナ後の旅行需要増加や円安により海外旅行から国内旅行への切り替えなどにより、入城観光客数が増加したことで前年度実績及び目標値を大きく上回った。 【参考】 入城観光客数 R5:8,532千人 R6:9,952千人</p>	S (20)	<p>・SNSを活用した情報発信を強化や有料区域への誘客促進策を講じており、入場者増に取り組みられている。引き続きSNSの利用分析等を進め、より効果的な情報発信に務め、有料区域内でのイベント実施を図るなど入場者増に取り組む必要がある。 ・「見せる復興」と関連し、県民のみならず県外での展示やワークショップを通じて、復興への関心を高める取り組みがなされている。引き続き復元工事のPRなどの広報や、復興関連イベントの開催などにより、県内外での首里城への関心度向上と来園増へ取り組む必要がある。 ・復元工事の進捗にあわせて、リーフレット等の内容改訂やガイドツアーの内容修正などに対応する必要がある。 ・増加する外国人観光客へのサービス向上のため、展示解説の多言語化などの対応を検討する必要がある。</p>	総合評価 良好に実施できている。引き続き、入場者数の確保に努めるとともに、経費の節減を図り、収支改善に取り組む必要がある。
	②満足度	満足度	96.6%	90%	98.5%	102.0%	109.4%	<p>・各項目ともに満足度が高く、良好な結果になっている。 ・QRコードを使用したアンケート収集やアンケート協力の声掛けを実施し、多くのお客様の声を収集するよう取り組んだ結果、アンケートの収集総数は7,998件となり、前年度の収集総数(3,009件)を上回る回答を得ることができている。 ・今後もお客様の声を踏まえ、利用者の満足度向上に務めること。</p>	S (20)		
財務指標	③財務状況	収益率	-0.1%	-7.5%	-0.7%	700.0%	9.3%	<p>・入城観光客数の増や見せる復興の取り組みの発信・誘導看板・有料区域の見どころチラシ配布等、有料区域への誘客に取り組みが図られたことで、入場者数が増加し利用料金収入は前年度比・計画比ともに増となった。 ・入場者数の増加に伴い売店収入も増加している。客層に応じて商品ラインアップを充実させた他、商品価格の見直し、売店の面積拡充およびレイアウト変更により、客単価は増加している。 ・令和7年度は素屋根見学エリアの供用終了に伴い、展示箇所が減ることが課題となるため、既存施設を活用した展示の強化や情報発信を強化し、満足度の維持向上を図る必要がある。 ・入場者数および売店利用者数の増加に応じて、運営経費が増額している。特に人件費、商品仕入れ、支払手数料、租税公課が増加している。 ・物価高騰を受け、人件費および労務費単価の上昇、光熱費等の負担が大きくなってきている。一方、コスト削減など経営努力により、対計画比では収支は改善している。 ・DX化の推進など業務の効率化を進めるとともに、費用対効果を意識した広告費や事業費の計上など、適切なコスト管理が必要となっている。 ・入場料収入および売店等収入ともに順調に増加しているが、物価高騰等の影響による運営経費の増加を吸収できていない、R5年度に比べて赤字幅は増加している。 ・物価高騰、人件費上昇の動向に注視しながら、適切なコスト管理により事業収支改善を図る必要がある。</p>	B (0)	<p>・誘導看板の設置やSNSを活用した情報発信、イベント連携等に入場促進が図られている、引き続きSNS利用分析等を活用した効果的な情報発信、イベントと連携した有料区域への誘客を強化し、収入増に向け取り組む必要がある。 ・ぐるっとツアーによる収入増が堅調であるため、定時ガイドの回数増や貸切ガイドの広報強化など、更なる収入増を図る必要がある。 ・令和7年度は素屋根見学エリアの供用終了に伴い、展示箇所が減ることが課題となるため、既存施設を活用した展示の強化や情報発信を強化し、入場者数、利用者満足度の維持向上を図る必要がある。</p>	S (50)
	④重点取組事項	HPアクセス数	4,066,082件	3,270,000件	4,603,351件	113.2%	140.8%	<p>沖縄県への観光需要の高まりに伴い、ホームページのアクセス数も増加した。イベント情報や復元工事に関するお知らせや進捗情報については、首里城公園の公式SNS(Facebook/Instagram/X)を活用して発信し、ホームページへの誘導を促進した。また、多言語ページでもイベント情報や復元工事に関するお知らせなどのアップデートに取り組んだ。</p>	S (10)	<p>・イベント情報や復興の進捗などは、SNS広告や今年度よりニュースリリース配信サイト「PR TIMES」を活用して情報発信し、ホームページへのアクセス数が前年度より約50万件増加した。 ・一時休止していた多言語ページのアップデートとして昨年夏頃より自動翻訳機能を活用させ、迅速に多言語ページを更新している。</p>	

6. 総合評価-県営首里城公園

評価項目	評価指標	令和5年度実績	事業計画 (目標値)	令和6年度実績	前年比	計画比	現状分析・課題	評価 (点数)	取組改善案	
成果指標	①利用状況	利用者数	1,446,286人	1,591,000人	1,671,691人	116%	105%	A (10)	・今後も入域観光客数の増加が見込まれ、特に外国人観光客の増加が見込まれることから多言語対応などに取り組むこと。 ・各種イベントについて、有料区域への誘客に繋げられるような工夫を凝らすこと。	
	②満足度	満足度	98.6%	90%	98.5%	99.9%	109.4%	S (20)	・各項目とも高い評価を受けており良好な結果となっている。特にアンケート回収方法について、多言語もWEB方式を導入したことにより回収数が大幅に増加していることは評価できる。今後多言語パンフレットにアンケートフォームへ誘導するQRコードを掲載するなど、引き続きアンケート回収数増に取り組み今後の管理運営の課題解決に繋げる必要がある。	
財務指標	③財務状況	収益率	-4.1%	-6.5%	-3.5%	85.3%	53.1%	B (0)	・首里杜館の緊急修繕費用として指定管理費の増額変更が生じた。 ・条例改正に伴う駐車料金改定により、駐車場料金が前年度比144.1%の増となったが、バス予約制の本格導入により小型車駐車スペースの確保が狭まったため、当初見込みを下回った。 ・首里杜館緊急修繕費や人件費、新たな公園サービス分等が増額となったが、光熱水費は国補助事業により減額となった。	・收支実績はマイナスであることから、引き続き收支改善に向けた取組が必要である。 ・バス予約システムの導入に対応した運用体制を構築し、効率化を図るなど、収入増に向けた取組を行う必要がある。
活動指標	④重点取組事項	アンケート回収数の増加 ※来園者数に対するアンケート回収数	3,009件	4,000件	7,998件	266%	200%	S (10)	・今後多言語パンフレットにアンケートフォームへ誘導するQRコードを掲載するなど、引き続きアンケート回収数増に取り組み今後の管理運営の課題解決に繋げる必要がある。	
総合評価		良好に実施できている。引き続き、入園者数の確保に努めるとともに、経費の節減を図り、收支改善に取り組む必要がある。							S (40)	